

1. 緊急用浄水器・可搬型浄水装置一覧表

注)製品情報は平成27年2月時点のものです。

No.	装置名称	メーカー	処理水量 (m ³ /日)	装置構成											除去対象								装置運搬に 用いる車両・ 必要な台数	設置 環境		設置に必要な 人数	運転方式		
				原水 槽	浄水 (洗浄) 槽	ストレーナ 類	凝集・沈 澱	砂ろ過	繊維ろ過	膜ろ過			活性炭	薬注		大腸菌	一般細菌	濁度	ポリブ トス	ウィルス	色度	鉄・マン ガン						塩化物イ オン	
										M F 膜	U F 膜	・その他 RO膜		消毒 剤	P A C									車種×台数	屋 外				屋 内
<緊急用浄水器>																													
1	トレスキュー・ミニ	水道機工(株)	4	—	—	○	—	—	—	—	—	○	○	○	—	◎	◎	◎	◎	◎	○	□	○	軽トラック ×1台	△	○	2人	手動	
2	災害対策用小型海水淡水化装置 (Red Boy)	(株)フソウ	8	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	○	—	◎	◎	◎	◎	◎	○	□	○	2tトラック ×1台	○	—	2～4人	手動	
3	トレスキュー (AW7200G型)	水道機工(株)	12	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	○	—	◎	◎	◎	◎	◎	○	□	○	軽トラック ×1台	△	○	3人	手動	
4	トレスキュー (AW7200M型)	水道機工(株)	12	—	—	○	—	—	—	—	—	○	—	○	—	◎	◎	◎	◎	◎	○	□	○	軽トラック ×1台	△	○	3人	手動	
5	災害対策用浄水器 (HP-N500型)	(株)フソウ	12	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	◎	◎	◎	◎	—	○	—	—	2tトラック ×1台	○	—	1人	手動	
6	トレローム (RC600N)	水道機工(株)	14	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	○	—	◎	◎	◎	◎	—	○	□	—	軽トラック ×1台	△	○	1人	手動
7	トレローム (RC1.0H型)	水道機工(株)	24	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	○	—	◎	◎	◎	◎	—	○	□	—	軽トラック ×1台	△	○	2人	手動
8	災害対策用浄水器 (HP-N2000E型)	(株)フソウ	48	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	△	—	◎	◎	◎	◎	—	○	—	—	2tトラック ×1台	○	—	2～4人	手動
9	トレローム (RC2.0H型)	水道機工(株)	48	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	○	—	◎	◎	◎	◎	—	○	□	—	軽トラック ×1台	△	○	2人	手動
10	トレローム (RC4.0H型)	水道機工(株)	96	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	○	—	◎	◎	◎	◎	—	○	□	—	軽トラック ×1台	△	○	2人	手動
11	災害対策用浄水器 (HP-N4000E型)	(株)フソウ	96	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	△	—	◎	◎	◎	◎	—	○	—	—	2tトラック ×1台	○	—	2～4人	手動
<可搬型浄水装置>																													
1	ミニ膜ユニット	前澤工業(株)	15	—	—	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	◎	◎	100>◎	◎	□	□	□	—	2tトラック ×1台	○	○	2人	自動	
2	膜ろ過ユニット	理水化学(株)	20	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	◎	◎	100>◎	◎	□	□	□	—	4tトラック ×1台	△	○	3～4人	自動、手動	
3	マクセス・セイフティー I 型	水道機工(株)	24	—	○	○	—	—	—	—	○	—	△	○	—	◎	◎	◎	◎	□	○	□	—	軽トラック ×1台	△	○	2人	自動	
4	パッケージ式膜ろ過装置 (NK-1)	(株)ウォーターテック	40	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	△	—	◎	◎	100>◎	◎	□	□	□	—	4tトラック ×1台	△	○	2～4人	自動	
5	マクセス・セイフティー II 型	水道機工(株)	48	—	○	○	—	—	—	—	○	—	△	○	—	◎	◎	◎	◎	□	○	□	—	軽トラック ×1台	△	○	2人	自動	
6	小型膜ろ過装置	水King(株)	50	浸漬槽		—	—	—	—	○	—	—	—	○	—	◎	◎	2000>◎	◎	—	—	□	—	4tトラック ×1台	○	○	2～4人	自動	
7	凝集沈澱ろ過装置	理水化学(株)	50	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	数百>○	○	□	□	○	—	4tトラック ×1台	○	○	2～4人	自動、手動	
8	膜ろ過ユニット	理水化学(株)	64	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	◎	◎	100>◎	◎	□	□	□	—	4tトラック ×1台	△	○	3～4人	自動、手動	
9	車載式浄水装置	(株)神鋼環境ソリューション	70	—	—	—	—	—	○	—	○	○	○	○	○	◎	◎	200>◎	◎	◎	□	□	○	4tトラックW ×1台	○	—	不要	自動	
10	小型凝集沈澱ろ過装置	(株)神鋼環境ソリューション	85	—	—	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	○	○	数百>○	○	□	□	○	—	4tトラック ×1台	○	—	2～4人	自動	
11	パッケージ式膜ろ過装置 (NZ-1)	(株)ウォーターテック	100	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	△	—	◎	◎	5>◎	◎	□	□	□	—	4tトラック ×1台	△	○	2～4人	自動	
12	小型膜ろ過装置 オルファインWMF-100	オルガノ(株)	100	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	△	—	◎	◎	0.5>◎	◎	—	—	□	—	4tトラック ×1台	—	○	2～4人	自動	
13	凝集沈澱ろ過装置	理水化学(株)	100	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	数百>○	○	□	□	○	—	4tトラック ×1台	○	○	2～4人	自動、手動	
14	パッケージ式膜ろ過装置 (NK-2)	(株)ウォーターテック	120	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	△	—	◎	◎	100>◎	◎	□	□	□	—	4tトラック ×1台	△	○	2～4人	自動	
15	MF膜ろ過ユニット (AMF-1)	日立造船(株)	135	○	○	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	◎	◎	2>◎	◎	—	—	□	—	2tトラック ×1台	△	○	2～4人	自動	
16	UF膜ろ過ユニット (AUF-1)	日立造船(株)	180	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	◎	◎	2>◎	◎	□	□	□	—	2tトラック ×1台	△	○	2～4人	自動	
17	超高速凝集沈澱装置＋MF膜ろ過装置	ヴェオリア・ウォーター・ジャパン(株)	200	—	—	○	○	—	—	○	—	—	—	○	○	◎	◎	1000>◎	◎	□	□	□	—	2tトラック ×3台	○	—	2～4人	自動	
18	小型膜ろ過装置 オルファインWMF-200	オルガノ(株)	200	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	△	—	◎	◎	0.5>◎	◎	—	—	□	—	4tトラック ×1台	—	○	2～4人	自動	
19	凝集沈澱ろ過装置	理水化学(株)	200	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	数百>○	○	□	□	○	—	4tトラック ×3台	○	○	2～4人	自動、手動	
20	膜ろ過ユニット	理水化学(株)	200	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	◎	◎	100>◎	◎	□	□	○	—	4tトラック ×1台	△	○	3～4人	自動、手動	
21	小型膜ろ過装置	(株)神鋼環境ソリューション	200	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	◎	◎	200>◎	◎	—	—	□	—	4tトラック ×1台	—	○	2～4人	自動	
22	車載型セラミック膜ろ過浄水装置	メタウォーター(株)	240	—	—	凝集混和槽		—	セラ	—	—	—	—	○	○	◎	◎	500>◎	◎	—	—	□	—	4tトラック ×1台	○	—	1～2人	自動	
23	パッケージ式膜ろ過装置 (NK-3)	(株)ウォーターテック	250	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	△	—	◎	◎	100>◎	◎	□	□	○	—	4tトラック ×1台	△	○	2～4人	自動	
24	槽浸漬方式セラミック膜ろ過装置	(株)クボタ	250	浸漬槽		—	—	—	—	セラ	—	—	—	○	○	◎	◎	◎	◎	—	—	□	—	10tトラック ×1台	○	○	2人	自動	
25	MF膜ろ過ユニット (AMF-2)	日立造船(株)	270	○	○	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	◎	◎	2>◎	◎	—	—	□	—	2tトラック ×1台	△	○	2～4人	自動	
26	AQSEV AMF-180S (自己洗浄型膜ろ過装置)	日立造船(株)	270	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	◎	◎	2>◎	◎	—	—	□	—	2tトラック ×1台	△	○	2～4人	自動	
27	UF膜ろ過ユニット (AUF-2)	日立造船(株)	285	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	○	—	◎	◎	2>◎	◎	□	□	□	—	4tトラック ×1台	△	○	2～4人	自動	
28	パッケージ式膜ろ過装置 (NZ-2)	(株)ウォーターテック	300	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	△	—	◎	◎	5>◎	◎	□	□	□	—	4tトラック ×1台	△	○	2～4人	自動	
29	移動式浄水装置	(株)明電舎	360	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	◎	◎	100>◎	◎	—	—	□	—	4tトラック ×1台	△	○	2～4人	自動	
30	小型膜ろ過装置 (Z-BOX S)	(株)西原環境	386	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	◎	◎	20>◎	◎	□	□	□	—	2tトラック ×1台	—	—	2人	自動	
31	小型膜ろ過装置 オルファインWMF-400	オルガノ(株)	400	—	—	○	—	—	—	○	—	—	—	△	—	◎	◎	0.5>◎	◎	—	—	□	—	4tトラック ×1台	—	○	2～4人	自動	
32	AQSEV AMF-275S (自己洗浄型膜ろ過装置)	日立造船(株)	400	—	○	○	—	—	—	○	—	—	—	○	—	◎	◎	2>◎	◎	—	—	□	—	2tトラック ×1台	△	○	2～4人	自動	
33	パッケージ式膜ろ過装置 (NZ-3)	(株)ウォーターテック	600	○	○	○	—	—	—	—	○	—	—	△	—	◎	◎	5>◎	◎	□	□	□	—	4tトラック ×1台	△	○	2～4人	自動	

注)「△」はオプションを示す。

注)「△」は条件により屋外設置可を示す。

＜装置の区分について＞

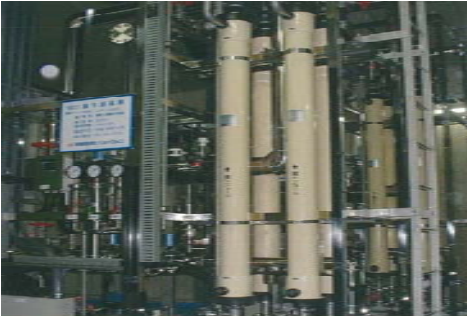
この資料では、手動運転の装置を「緊急用浄水器」、自動運転の（洗浄機能等が自動化されている）装置を「可搬型浄水装置」として掲載しました。

2. 可搬型浄水装置のメーカー別仕様一覧表

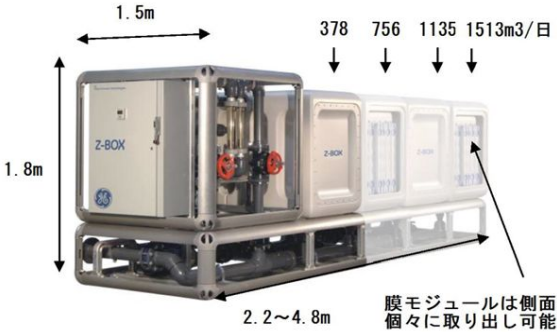
注)製品情報は平成27年2月時点のものです。

製造メーカー	ヴェオリア・ウォーター・ジャパン(株) (昭和環境システム(株))	株式会社ウォーターテック					
装置名称	超高速凝集沈殿装置＋MF膜ろ過装置	パッケージ式膜ろ過装置(NK-1)	パッケージ式膜ろ過装置(NK-2)	パッケージ式膜ろ過装置(NK-3)	パッケージ式膜ろ過装置(NZ-1)	パッケージ式膜ろ過装置(NZ-2)	パッケージ式膜ろ過装置(NZ-3)
外形寸法 (mm)	超高速凝集沈殿装置:900W×2,300L×2,600H MF膜ろ過装置 :1,200W×2,150L×2,600H 膜ろ過薬液洗浄装置:1,100W×2,300L×1,000H	1,500W×3,500L×2,050H	1,800W×4,400L×2,250	2,100W×5,300L×2,250H	1,500W×3,500L×2,050H	1,800W×4,400L×2,250H	2,100W×5,300L×2,250H
製品重量 (t)	1.7、1.0、0.4	1.0	1.5	2.0	1.0	1.5	2.0
運転重量 (t)	5.0、2.5、1.5	2.8	5.2	8.0	2.8	5.2	8.0
装置構成	原水槽、原水ポンプ、超高速凝集沈殿装置、PAC/高分子凝集剤/次亜塩素酸注入装置、沈殿水槽、MF膜ろ過装置、膜ろ過薬液洗浄装置	内圧式中空糸UF膜モジュール、原水タンク、原水ポンプ、逆洗ポンプ、逆洗タンク、濁度計、制御盤 ※全て共通架台上に設置。水質・現地状況により変更			内圧式中空糸UF膜モジュール、原水タンク、原水ポンプ、逆洗ポンプ、逆洗タンク、濁度計、制御盤 ※全て共通架台上に設置。水質・現地状況により変更		
処理水量 (m³/日)	150～200	通常時:40、1系列休止時:30	通常時:120、1系列休止時:90	通常時:250、1系列休止時:180	通常時:100、1系列休止時:75	通常時:300、1系列休止時:225	通常時:600、1系列休止時:450
回収率 (%)	85	90	90	90	95	95	95
処理方式 ※【 】内は装置範囲を示す	原水→【超高速凝集沈殿→ストレーナー→MF膜ろ過→塩素消毒】→浄水	原水→【ストレーナー→膜ろ過装置】→塩素消毒→浄水 消毒用次亜注入ポンプ設置も可能			原水→【ストレーナー→膜ろ過装置】→塩素消毒→浄水 消毒用次亜注入ポンプ設置も可能		
除去対象	一般細菌、大腸菌、濁度	一般細菌、大腸菌、濁度、クリプトスポリジウム			一般細菌、大腸菌、濁度、クリプトスポリジウム		
原水水質の制約条件	濁度1000度以下とする。(目安)	濁度100度以下とし、除去対象以外は水質基準項目の基準値を満足すること。			濁度5度以下とし、除去対象以外は水質基準項目の基準値を満足すること。		
積載可能車両	2トラック ×3台	4トラック ×1台			4トラック ×1台		
設置環境	屋外	屋内(屋外仕様とすることにより屋外設置可能)			屋内(屋外仕様とすることにより屋外設置可能)		
設置必要人員	2～4人	2～4人			2～4人		
運転方式	自動	自動			自動		
使用薬品	PAC、水道用高分子凝集剤、細砂、次亜塩素酸ナトリウム	次亜塩素酸ナトリウム(消毒、膜逆洗用 ※対応システムにより変更)			次亜塩素酸ナトリウム(消毒、膜逆洗用 ※対応システムにより変更)		
運転人員	1人 ※ただし、無人運転を基本とする	無人運転を基本とし、現場常駐は不要			無人運転を基本とし、現場常駐は不要		
電源	AC200V	3φ3W AC200V 50/60Hz	3φ3W AC200V 50/60Hz	3φ3W AC200V 50/60Hz	3φ3W AC200V 50/60Hz	3φ3W AC200V 50/60Hz	3φ3W AC200V 50/60Hz
発電機付属の場合	—	—			—		
保管場所	屋内(膜モジュール)、屋外可(超高速凝集沈殿装置)	屋内(直射日光、高温・多湿を避けた倉庫内などに保管)			屋内(直射日光、高温・多湿を避けた倉庫内などに保管)		
その他	・本装置は浄水場に設置して通常は浄水処理(連続運転)を行い、災害時には取り外して給水拠点等へ輸送し、応急給水に用いるという使い方が可能である。	現場状況に合わせた仕様変更が可能であり、製品価格はその仕様により変わります。			現場状況に合わせた仕様変更が可能であり、製品価格はその仕様により変わります。		
カタログ・画像	 超高速凝集沈殿装置  MF膜ろ過装置						

注)製品情報は平成27年2月時点のものです。

製造メーカー	オルガノ株式会社			株式会社神鋼環境ソリューション		
装置名称	小型膜ろ過装置 オルファイン WMF-100	小型膜ろ過装置 オルファイン WMF-200	小型膜ろ過装置 オルファイン WMF-400	車載式浄水装置	小型膜ろ過装置	小型凝集沈殿ろ過装置
外形寸法 (mm)	1,500W×4,600L×2,000H	1,600W×5,300L×2,000H	1,950W×6,200L×2,200H	2,300W×4,500L×1,300H	1,500W×3,000L×2,600H	2,000W×4,000L×2,300H
製品重量 (t)	1.9	2.3	2.9	3.5	1.5	3.8
運転重量 (t)	3.1	4.3	7.1	6.0	3.0	14
装置構成	外圧式中空糸MF膜モジュール、原水ポンプ、逆洗ポンプ、超高感度濁度計、逆洗用空気圧縮機、制御盤 ※全て共通台床に搭載			取水ポンプ⇒長毛ろ過⇒UF膜⇒RO膜⇒活性炭⇒貯留槽⇒送水ポンプ	ストレーナ、MF膜、逆洗ポンプ、逆洗次亜、処理水濁度計、空気圧縮機、制御盤	急速攪拌機、緩速攪拌機、沈殿槽、砂ろ過、濁度計、pH計、残塩計、薬注設備、制御盤
処理水量 (m ³ /日)	100	200	400	70(20時間/日、水温10度以下)	200	85
回収率 (%)	90以上			50～60程度(RO膜70)	95程度	95程度
処理方式 ※【 】内は装置範囲を示す	原水 →【ストレーナ → 膜ろ過】→ 塩素消毒→ 浄水			長毛ろ過⇒UF膜⇒RO膜⇒活性炭⇒次亜	原水→【ストレーナ→MF膜】→塩素消毒→処理水	原水→【薬品添加→凝集→混和→沈殿→急速ろ過→塩素消毒→処理水】
除去対象	一般細菌、大腸菌、濁度、クリプトスポリジウム			一般細菌、大腸菌、濁度、ウイルス、溶解性物質	一般細菌、大腸菌、濁度	一般細菌、大腸菌、濁度、色度、鉄、マンガン
原水水質の制約条件	平常時濁度0.5度以下とし、一般細菌、大腸菌、濁度以外の項目は水質基準項目の基準値を満足すること。(災害時は処理水量減で高濁度対応可)			濁度200度以下とし、蒸発残留物500mg/L以下、塩化物イオン200mg/L以下、pH6.5～7.5とすること。	濁度200度以下とし、除去対象物質以外は水質基準項目の基準値を満足すること。	濁度数百度以下とし、鉄・マンガンの溶解性物質は水質基準項目の基準値を満足すること。
積載可能車両	4tトラック ×1台			4t車(ワイドタイプ)	4tトラック ×1台	4tトラック ×1台
設置環境	屋内			屋外(外気温－30～40度)	屋内	屋外
設置必要人員	2～4 人			－	2～4人	2～4人
運転方式	自動			自動	自動	自動、手動
使用薬品	次亜塩素酸ナトリウム(膜洗浄用/オプション)			PAC、苛性ソーダ(※必要による)、SBS(※必要による)、スケール防止剤(※必要による)、次亜塩素酸ナトリウム	次亜塩素酸ナトリウム	次亜塩素酸ナトリウム、PAC、苛性ソーダ、希硫酸
運転人員	1人 ※ただし、無人運転を基本とし、現場常駐は不要			1人	1人 ※ただし、無人運転を基本とし、現場常駐は不要	1人 ※ただし、無人運転を基本とし、現場常駐は不要
電源	3φ AC200V 4.6kVA/50Hz 4.7kVA/60Hz	3φ AC200V 7.5kVA/50Hz 7.7kVA/60Hz	3φ AC200V12.8kVA/50Hz 12.8kVA/60Hz	3φ 200V 25kVA 50/60Hz ※装置付属の発電機を使用可能	3φ 200V 5KVA 50/60Hz	3φ 200V 3kVA 50/60Hz
発電機付属の場合	—			燃料:軽油 連続運転時間: 20h	—	—
保管場所	(通常時は浄水場での運転)			倉庫	屋内	屋内、屋外
その他	・本装置は浄水場に設置して通常は浄水処理(連続運転)を行い、災害時には取り外して給水拠点等へ輸送し、応急給水に用いるという使い方が可能である。 ・膜モジュールは装置とともに現地へ輸送し、現地にて装置へ取り付け。 ・使用する膜モジュールは一般社団法人膜分離振興技術協会の認定を取得済み。			車載型出来るようコンパクトにしている。常設も可能	本装置は浄水場に設置して通常は浄水処理(連続運転)を行い、災害時には取り外して給水拠点等へ輸送し、応急給水に用いるという使い方が可能である。 使用する膜モジュールは一般社団法人膜分離振興技術協会の認定を取得済。	本装置は浄水場に設置して通常は浄水処理(連続運転)を行い、災害時には取り外して給水拠点等へ輸送し、応急給水に用いるという使い方が可能である。 水道施設設計指針に準拠した容量を確保している。
カタログ・画像						

注)製品情報は平成27年2月時点のものです。

製造メーカー	株式会社クボタ	水ing株式会社	株式会社 西原環境	前澤工業株式会社	株式会社明電舎
装置名称	槽浸漬方式セラミック膜ろ過装置	小型膜ろ過装置	小型膜ろ過装置(Z-BOX S)	ミニ膜ユニット	移動式浄水装置
外形寸法 (mm)	5,200W×2,300L×2,600H	2,000W×6,000L×1,650H	1,500W×2,200L×1,800H	1,600W×1,350L×2,300H	2,438W×6,058L× 2,591H
製品重量 (t)	4.6	2.4	—	1.2	—
運転重量 (t)	19	10	—	1.5	—
装置構成	外圧式セラミック膜モジュール、膜浸漬槽、逆洗水槽、膜ろ過ポンプ、逆洗ポンプ、洗浄ブロワ、排水ポンプ、薬品注入設備、膜浸漬槽pH計、膜ろ過水濁度計、制御盤 ※全て共通台床に搭載	浸漬膜ろ過槽、処理水槽、薬品注入設備、操作盤	外圧式中空糸UF膜モジュール、ろ過/逆洗ポンプ、処理水タンク、制御盤 ※全て共通台床に搭載	内圧式中空糸UF膜モジュール、原水ポンプ、逆洗ポンプ、循環ポンプ、微粒子カウンター、次亜注入設備、制御盤 ※パッケージ収納	ストレーナ、膜ろ過ポンプ、外圧式中空糸MF、逆洗水槽、逆洗ポンプ、制御盤、高感度濁度計、次亜消毒設備、制御盤、移動車両
処理水量 (m³/日)	～250	50	～386	15	表流水:180、地下水:360
回収率 (%)	～99.5	95	84～95	90	90
処理方式 ※【 】内は装置範囲を示す	原水 →【凝集 → 膜ろ過 → 塩素消毒】→ 浄水	原水→【ストレーナ→浸漬膜ろ過槽→処理水槽】→浄水	原水 →ストレーナ →【膜ろ過】→ 塩素消毒→ 浄水	原水→【ストレーナ→膜ろ過→塩素消毒】→浄水	原水 →【ストレーナ → 膜ろ過 → 塩素消毒】→ 浄水
除去対象	一般細菌、大腸菌、濁度、鉄(濃度による)、マンガン(濃度による)	一般細菌、大腸菌、濁度	一般細菌、大腸菌、濁度、ウイルス	一般細菌、大腸菌、濁度	一般細菌、大腸菌、濁度
原水水質の制約条件	除去対象物質以外は水質基準項目の基準値を満足すること。	濁度2000度以下とし一般細菌、大腸菌、濁度以外の項目は水質基準項目の基準値を満足すること。	平均濁度20以下とし、TSS25mg/L以下とすること。(数日間なら濁度250以下)	濁度100度以下とし、一般細菌、大腸菌、濁度以外の項目は水質基準項目の基準値を満足すること。	濁度100度以下とし、一般細菌、大腸菌、濁度以外の項目は水質基準項目の基準値を満足すること。
積載可能車両	10tトラック × 1台	4tトラック × 1台	2tトラック × 1台	2tトラック × 1台	4tトラック(価格に含まれる)
設置環境	屋内、屋外	屋内、屋外	—	屋内、屋外	屋内(コンテナ等へ収納することにより屋外設置可能)
設置必要人員	2人(クレーン等の操作人員を除く)	2～4 人	2人	2人	2～4人
運転方式	自動	自動	自動	自動	自動
使用薬品	PAC、次亜塩素酸ナトリウム(消毒用、必要に応じ前塩素用)、硫酸(原水水質による)	次亜塩素酸ナトリウム	次亜塩素酸ナトリウム(消毒用)	次亜塩素酸ナトリウム(消毒用)	次亜塩素酸ナトリウム(消毒、膜逆洗用)
運転人員	1人 ※ただし、現場常駐は不要	1人 ※ただし無人運転を基本とし、現場常駐は不要	1人 ※ただし、無人運転を基本とし、現場常駐は不要	1人 ※ただし、無人運転を基本とし、現場常駐は不要	1人 ※ただし、無人運転を基本とし、現場常駐は不要
電源	3φ 200V 10 kW 50/60 Hz	3φ AC200V 2kW 50/60Hz	3φ AC400V 50/60Hz	1φ 100V 3.5KVA 50Hz/60Hz	3φ AC200V 1.2kW 50/60Hz ※発電機又は弊社移動電源車を別途準備でも可
発電機付属の場合	—	—	—	—	—
保管場所	屋内(直射日光や、高温多湿を避けた倉庫内など)	屋内、屋外	屋内(直射日光、高温・多湿を避けた倉庫内など)	屋内(直射日光、高温・多湿を避けた倉庫内など)	屋内(直射日光、高温・多湿を避けた倉庫内など)
その他	・本装置は浄水場に設置して通常は浄水処理(連続運転)を行い、災害時には取り外して給水拠点等へ輸送し、応急給水に用いるという使い方が可能である。 ・使用する膜モジュールは乾燥状態での保管が可能であり、保存液は不要。 ・使用する膜モジュールは一般社団法人膜分離振興技術協会の認定を取得済み。 ・本装置は一般財団法人水道技術研究センターの水道用膜ろ過装置認定登録済み。	・本装置は浄水場に設置して通常は浄水処理(連続運転)を行い、災害時には取り外して給水拠点等へ輸送し、応急給水に用いるという使い方が可能である。 ・使用する膜モジュールは乾燥状態での保管が可能であり、保存液は不要。 ・使用する膜モジュールは一般社団法人膜分離振興技術協会の認定を取得済み。	・本装置は、長さ方向に拡張可能で、長さ3.3mの時、処理水量772m3/日、長さ3.9mの時、処理水量1,158m3/日、長さ4.8mの時、処理水量1,544m3/日となる。	・本装置は浄水場に設置して通常は浄水処理(連続運転)を行い、災害時には取り外して 給水拠点等へ輸送し、応急給水に用いるという使い方が可能である。 ・膜モジュールは装置とともに現地へ輸送し、現地にて装置へ取り付け。 ・使用する膜モジュールは一般社団法人膜分離振興技術協会の認定を取得済み。	・本装置は浄水場に設置して通常は浄水処理(連続運転)を行い、災害時には取り外して給水拠点等へ輸送し、応急給水に用いるという使い方が可能である。 ・膜モジュールは装置とともに現地へ輸送し、現地にて装置へ取り付け。 ・使用する膜モジュールは一般社団法人膜分離振興技術協会の認定を取得済み。
カタログ・画像					

注)製品情報は平成27年2月時点のものです。

製造メーカー	水道機工株式会社						メタウォーター株式会社
装置名称	マクセス・セイフティー I , II 型	トレスキュー(AW7200G型)	トレスキュー(AW7200M型)	トレスキュー・ミニ	トレローム(RC1.0H／2.0H／4.0H型)	トレローム(RC600N)	車載型セラミック膜ろ過浄水装置
外形寸法 (mm)	1,225W×600L×1,600H	600W×1,253L×744H	600W×1,253L×744H	1,260W×600L×740H	1.0H、2.0H型:570W×1,030L×650H 4.0H型:650W×1,150L×870H	400W×650L×450H	2,200W×5,800L×2,100H
製品重量 (t)	0.16、0.17	0.16	0.18	0.1	0.06、0.07、0.09	0.03	5.0
運転重量 (t)	0.19、0.2	0.2	0.2	0.1	0.07、0.08、0.1	0.04	5.5
装置構成	内圧式中空糸UF膜モジュール、給水フィルター、循環ポンプ、逆洗ポンプ、次亜注入ユニット、制御盤、洗水槽、(オプション:活性炭フィルター)	逆浸透膜(RO膜モジュール)、ガードフィルター(25 μ ・3 μ)、原水ポンプ、高圧ポンプ、安全弁等の保護システム、次亜注入ユニット、エンジン	逆浸透膜(RO膜モジュール)、ガードフィルター(25 μ ・3 μ)、高圧ポンプ、安全弁等の保護システム、次亜注入ユニット、制御盤	逆浸透膜(RO膜モジュール)、ガードフィルター(25 μ)、活性炭フィルター、原水ポンプ、高圧ポンプ、安全弁等の保護システム、次亜注入ユニット、制御盤	外圧式中空糸MF膜モジュール、エンジンポンプ、ガードフィルター(10 μ)、活性炭フィルター、次亜注入ユニット、手動ポンプ	外圧式中空糸MF膜モジュール、手動ポンプ、ガードフィルター(10 μ)、粒状活性炭、次亜注入ユニット	外圧式セラミックMF膜モジュール、原水ポンプ、空気圧縮機、次亜・PAC注入ユニット、制御盤、発電機 ※全て共通台床に搭載
処理水量 (m ³ /日)	24、48	海水:8.64、淡水:12	海水:8.64、淡水:12	海水:2.88、淡水:4.0	24、48、96	14	表流水:75～150、地下水:120～240
回収率 (%)	90	海水:30、淡水:40	海水:30、淡水:40	海水:12、淡水:15	100%	100%	90以上
処理方式 ※【】内は装置範囲を示す	原水→【給水フィルター→膜ろ過→活性炭フィルター(オプション→塩素消毒→逆洗水槽)→浄水	原水→【ガードフィルター→膜ろ過→塩素消毒】→浄水		原水→【ガードフィルター→活性炭フィルター→膜ろ過→塩素消毒】→浄水	原水→【ガードフィルター→活性炭フィルター→膜ろ過→塩素消毒】→浄水		原水→【凝集混和→膜ろ過→塩素消毒】→浄水
除去対象	一般細菌、大腸菌、濁度、ウイルス	一般細菌、大腸菌、濁度、ウイルス、塩分、重金属類、有機物			一般細菌、大腸菌、濁度		一般細菌、大腸菌、濁度
原水水質の制約条件	上水道の水源となっている水、もしくはスイミングプールの水など。但し、災害などで溶解性の毒物、劇物などが流れ込んでいる場合は不可。	上水道の水源となっている水、海水、スイミングプール水、防火水槽の水など。但し、災害などで化学物質に汚染されている場合は不可。			上水道の水源となっている水、もしくはスイミングプールの水など。但し、災害などで溶解性の毒物、劇物などが流れ込んでいる場合は不可。		濁度500度以下とし、除去対象物質が非溶解性であること。
積載可能車両	軽トラック × 1台	軽トラック × 1台			軽トラック × 1台		4tトラック × 1台
設置環境	屋内(テント等にて降雨を防げれば屋外設置可能)	屋内(テント等にて降雨を防げれば屋外設置可能)			屋内(テント等にて降雨を防げれば屋外設置可能)		屋外
設置必要人員	2人	3人		2人	2人	1人	1～2人
運転方式	自動	手動			手動		自動
使用薬品	次亜塩素ナトリウム(消毒用)	次亜塩素ナトリウム(消毒用)			次亜塩素ナトリウム(消毒用)		次亜塩素酸ナトリウム(消毒用)、PACl、pH調整剤(前処理用 ※原水水質・運転条件により要・不要あり)
運転人員	1人(給水ストレーナー、膜モジュールの詰りによるろ過流量調節が必要)	1人(ガードフィルター、膜モジュールの詰りによるろ過流量調節が必要)		1人(給水ストレーナー、膜モジュールの詰りによるろ過流量調節が必要)	1人(ガードフィルター、膜モジュールの詰りによるろ過流量調節が必要)		1人 ※ただし、ドライバーは不含
電源	1 ϕ AC100V 600W ※電源供給が不可の場合、別途発電機が必要	—	3 ϕ AC200V 3.7kW ※電源供給が不可の場合、別途発電機が必要	1 ϕ AC200V 3.0kW ※電源供給が不可の場合、別途発電機が必要	—	—	3 ϕ AC200V 14.5kVA ※装置付属の発電機および商用電源にて運転可能
発電機付属の場合	—	燃料: 無鉛ガソリン 連続運転時間: 約4.5時間h	—	—	燃料: 無鉛ガソリン 連続運転時間: 約2h	—	燃料: 軽油 連続運転時間: 24h ※24hに1回燃料補給
保管場所	屋内(直射日光、高温・低温(0℃以下)、多湿を避けた倉庫内など)	屋内(直射日光、高温・低温(0℃以下)、多湿を避けた倉庫内など)			屋内(直射日光、高温・低温(0℃以下)、多湿を避けた倉庫内など)		屋外
その他	・台風や地震などの非常災害時に避難場所など、飲料水等が必要な場所へ輸送し、応急給水が可能である。 ・運転は誰にでも簡単にでき、AC100V(家庭用コンセント又は、小型発電機)にて自動・手動運転が可能である。又、消毒剤以外の薬品は一切不要である。 ・短期間(半日程度)であれば、150%以上の過負荷に耐える事が可能である。	・台風や地震などの非常災害時に避難場所など、飲料水等が必要な場所へ輸送し、応急給水が可能である。また、海水対応も可能であり、東日本大震災の際には離島にて最長5ヶ月間稼働の実績があり、その間ガードフィルター用のエレメント交換のみでRO膜の交換は実施しなかった。 ・装置内に搭載されている各機器を保護するための安全システムが搭載されている。 ・消毒剤以外の薬品は一切不要である。			・台風や地震などの非常災害時に避難場所など、飲料水等が必要な場所へ輸送し、応急給水が可能である。 ・消毒剤以外の薬品は一切不要である為、運転は誰にでも簡単にできる。 ・原水を利用して、手動による逆洗が可能である。		・本装置は車載式であり、災害時には任意の場所に自走移動、設置することにより、応急給水に用いるという使い方が可能である。また、通常時も連続浄水可能。 ・規模に応じ、3種類を準備しています。本記載は、最大処理量設備のものです。 ・膜モジュールは、実装しており、設営後、直ちに稼働可能。 ・使用する膜モジュールは一般社団法人膜分離振興技術協会の認定を取得済み。
カタログ・画像							

注)製品情報は平成27年2月時点のものです。

製造メーカー		日立造船株式会社				
装置名称	MF膜ろ過ユニット(AMF-1)	MF膜ろ過ユニット(AMF-2)	UF膜ろ過ユニット(AUF-1)	UF膜ろ過ユニット(AUF-2)	AQSEV AMF-180S (自己洗浄型膜ろ過装置)	AQSEV AMF-275S (自己洗浄型膜ろ過装置)
外形寸法 (mm)	1,700W×2,900L×2,100H	1,750W×3,200L×2,150H	1,750W×3,400L×2,150H	1,950W×3,600L×2,150H	φ 1,500×2,225H	φ 1,600×2,350H
製品重量 (t)	1.6	1.8	1.9	2.3	1.48	1.85
運転重量 (t)	2.8	4.1	4.1	5.3	1.88	2.3
装置構成	ストレーナ(オートストレーナ選択可)、原水槽、ろ過ポンプ、外圧式中空系MF膜モジュール、逆洗水槽、逆洗ポンプ、コンプレッサ、洗浄用次亜注入ポンプ、次亜塩貯槽、流量計、圧力検出器、水温計、膜ろ過水濁度計、制御盤、(オプション:前次亜注入ポンプ、原水濁度計、残塩計) ※全て共通台床に搭載		ストレーナ(オートストレーナ選択可)、原水槽、ろ過ポンプ、内圧式中空系UF膜モジュール、逆洗水槽、逆洗ポンプ、洗浄用次亜注入ポンプ、次亜塩貯槽、流量計、圧力検出器、水温計、膜ろ過水濁度計、制御盤、(オプション:前次亜注入ポンプ、原水濁度計、残塩計) ※全て共通台床に搭載		外圧式中空系MF膜モジュール、オートストレーナ、コンプレッサー、循環水ポンプ、逆洗用次亜塩注入ポンプ、次亜塩貯槽、膜破断検出器、緊急遮断弁、流量計、圧力検出器、原水濁度計、膜ろ過水濁度計、水温計、制御盤 ※全て装置内に搭載	
処理水量 (m³/日)	平均濁度1度未満:135 平均濁度1～2度 :90	平均濁度1度未満:270 平均濁度1～2度 :180	平均濁度1度未満:180 平均濁度1～2度 :120	平均濁度1度未満:285 平均濁度1～2度 :190	地表水:180 地下水:270	地表水:260 地下水:400
回収率 (%)	95 ～ 97	95 ～ 97	95 ～ 98	95 ～ 98	95	95
処理方式 ※【 】内は装置範囲を示す	原水→【ストレーナ→原水槽→MF膜ろ過→逆洗水槽】→ 浄水		原水→【ストレーナ→原水槽→UF膜ろ過→逆洗水槽】→ 浄水		原水 →【オートストレーナ → MF膜ろ過 → 塩素消毒】→ 浄水	
除去対象	一般細菌、大腸菌、濁度		一般細菌、大腸菌、濁度、ウイルス、フミン酸		一般細菌、大腸菌、濁度	
原水水質の制約条件	濁度0.5～2度以下とし、鉄0.05mg/L以下、マンガン0.01mg/L以下、その他の項目は水質基準項目の基準値を満足すること。		濁度0.5～2度以下とし、鉄0.05mg/L以下、マンガン0.01mg/L以下、その他の項目は水質基準項目の基準値を満足すること。		通常時濁度1度程度とし、一般細菌、大腸菌、濁度以外の項目は水質基準項目の基準値を満足すること。(3日程度の短期的な濁度上昇は2度程度まで対応可能)	
積載可能車両	2tトラック ×1台	2tトラック ×1台	2tトラック ×1台	4tトラック ×1台	2tユニック車 ×1台	2tユニック車 ×1台
設置環境	屋内		屋内		屋内(コンテナ等へ収納することにより屋外設置可能)	
設置必要人員	2～4 人	2～4 人	2～4 人	2～4 人	2～4 人	2～4 人
運転方式	自動		自動		自動	
使用薬品	次亜塩素酸ナトリウム(消毒、膜洗浄用)		次亜塩素酸ナトリウム(消毒、膜洗浄用)		次亜塩素酸ナトリウム(消毒用)	
運転人員	1人 ※ただし、無人運転を基本とし、現場常駐は不要		1人 ※ただし、無人運転を基本とし、現場常駐は不要		1人 ※ただし、無人運転を基本とし、現場常駐は不要	
電源	3φ AC200V 50/60Hz 4.0kWh	3φ AC200V 50/60Hz 4.6kWh	3φ AC200V 50/60Hz 5.0kWh	3φ AC200V 50/60Hz 8.0kWh	3φ AC200V 50/60Hz 1.1kWh	3φ AC200V 50/60Hz 1.3kWh
発電機付属の場合	—	—	—	—	—	—
保管場所	屋内(直射日光・高温・多湿を避けた倉庫内など)で膜モジュールを外して保管。		屋内(直射日光・高温・多湿を避けた倉庫内など)で膜モジュールを外して保管。		屋内(直射日光・高温・多湿を避けた倉庫内など)で膜モジュールを外して保管。	
その他	・本装置は「通常は浄水場に設置して浄水処理(連続運転)を行い、災害時には装置をそのまま取り外して給水拠点等へ輸送し、応急給水に用いる」という使い方が可能。 ・使用する膜モジュールは一般社団法人膜分離振興技術協会の認定を取得済み。 ・本装置は一般財団法人水道技術研究センターの水道用膜ろ過装置認定登録済み。				・本装置は「通常は浄水場に設置して浄水処理(連続運転)を行い、災害時には装置をそのまま取り外して給水拠点等へ輸送し、応急給水に用いる」という使い方が可能。 ・使用する膜モジュールは一般社団法人膜分離振興技術協会の認定を取得済み。	
カタログ・画像						

注)製品情報は平成27年2月時点のものです。

製造メーカー	株式会社 フソウ			
装置名称	災害対策用小型海水淡水化装置(Red Boy)	災害対策用浄水器(HP-N500型)	災害対策用浄水器(HP-N2000E型)	災害対策用浄水器(HP-N4000E型)
外形寸法 (mm)	1,800W×700L×820H	580W×215L×56H	900W×600L×800H	1,200W×700L×880H
製品重量 (t)	0.26	0.021	0.13	0.15
運転重量 (t)	—	—	—	—
装置構成	海水取水ポンプ、海水淡水化装置(3μmチェックフィルター、高圧ポンプ、逆浸透膜、圧力容器、高圧配管材、低圧配管材、薬品注入装置、低圧スイッチ、原水入口圧力計、RO入口圧力計、運転圧力計、処理水流量計、濃縮水流量計、処理水水量計) ※()内は装置内に搭載、キャスター付き	ポリエチレンMF膜、手動ポンプ、サクシヨンホース、1μmカートリッジフィルター、活性炭カートリッジフィルター、標準工具、※全て装置内に搭載。キャスター付き	ポリエチレンMF膜、手動ポンプ、サクシヨンホース、1μmカートリッジフィルター、活性炭カートリッジフィルター、標準工具、(オプション:塩素注入機、塩素減菌タンク) ※※全て装置内に搭載。キャスター付き	ポリエチレンMF膜、手動ポンプ、エンジンポンプ、サクシヨンホース、1μmカートリッジフィルター、活性炭カートリッジフィルター、標準工具、(オプション:塩素注入機、塩素減菌タンク) ※全て装置内に搭載。キャスター付き
処理水量 (m³/日)	海水:0.33 m3/hour(最大8 m3/日)	0.5 m3/hour (最大12 m3/日)	2 m3/hour (最大48 m3/日)	4 m3/hour(最大96 m3/日)
回収率 (%)	22	100	100	100
処理方式 ※【 】内は装置範囲を示す	原水→【3μmフィルター→RO膜ろ過→滅菌装置】→浄水	原水→【ストレーナー→除濁フィルター(または活性炭フィルター)→MF膜ろ過】→浄水	原水→【ストレーナー→除濁フィルター(または活性炭フィルター)→MF膜ろ過(→オプション塩素消毒)】→浄水	
除去対象	一般細菌、大腸菌、濁度、ウイルス、塩類、色度等			
原水水質の制約条件	高濁度は避けるほうが望ましい。		除去対象以外は水質基準項目の基準値を満足すること。	
積載可能車両	2tトラック ×1台		2tトラック ×1台	
設置環境	屋外		屋外	
設置必要人員	2～4 人	1人	2～4 人	
運転方式	手動		手動	
使用薬品	次亜塩素酸ナトリウム(滅菌装置にて使用)	なし	次亜塩素酸ナトリウム(※オプションによる)	
運転人員	1人	1人		
電源	組込式エンジンポンプ使用のため不要	—	ユニット組込式エンジンポンプ使用のため不要。また、手動ポンプも使用可能	
発電機付属の場合	燃料: ガソリン 連続運転時間: 約2h	—	燃料: ガソリン 連続運転時間: 約1h	
保管場所	屋内(直射日光、高温・多湿を避けた倉庫内等)			
その他	・本小型海水淡水化装置は、災害対策用としてあらかじめ避難所等に保管しておき、災害時に海水、河川水、湖沼水、井戸水、プール水等を原水として取水し、無菌飲料水を精製する装置です。 ・本浄水器は、災害対策用としてあらかじめ避難所等に保管しておき、災害時に河川水または湖沼水から取水し、無菌飲料水を精製する装置です。また、専門担当者は不要で、塩素を使用せずに安全な滅菌飲料水を精製できます。 ・MF膜の保管には保存液の交換が不要であるため、10年間保存の後でも即使用が可能です。			
カタログ・画像				

注) 製品情報は平成27年2月時点のものです。

製造メーカー	理水化学株式会社					
装置名称	凝集沈澱ろ過装置			膜ろ過ユニット		
外形寸法 (mm)	本体 : 2,050W × 2,700L × 2,600H 薬注・制御盤: 1,000W × 2,700L × 2,000H	本体 : 2,050W × 3,800L × 2,600H 薬注・制御盤: 1,000W × 3,000L × 2,000H	沈澱池部 : 1,500W × 5,200L × 2,600H ろ過池部 : 1,500W × 5,200L × 2,600H 薬注・制御盤: 1,000W × 3,000L × 2,000H	1,350W × 5,000L × 2,000H	1,800W × 5,000L × 2,100H	2,100W × 6,000L × 2,900H
製品重量 (t)	5.0	7.0	12	1.2	2.0	2.5
運転重量 (t)	15	21	38	2.2	3.2	6.0
装置構成	混和池・フロック形成池・傾斜管沈澱池・急速ろ過池・洗浄水槽・急速攪拌機、緩速攪拌機、傾斜管、排泥装置、逆洗ポンプ、次亜・凝集剤注入ユニット、原水濁度計、制御盤、発電機 ※全て同一基礎上に設置			オートストレーナ、原水槽、原水ポンプ、内圧式中空糸UF膜モジュール、自動弁、循環ポンプ、洗浄水槽、洗浄ポンプ、次亜注入ユニット(後塩・洗浄用)、高感度濁度計、制御盤、発電機 ※全て同一架台上に設置		
処理水量 (m³/日)	50	100	200	20	64	200
回収率 (%)	95	95	95	90	90	90
処理方式 ※【 】内は装置範囲を示す	原水 →【薬品添加→急速攪拌→フロック形成→沈澱→砂ろ過】→ 浄水			原水 →【オートストレーナ→原水槽→膜ろ過→塩素消毒→洗浄水槽】→ 浄水		
除去対象	一般細菌、大腸菌、濁度、色度、鉄、マンガン			一般細菌、大腸菌、濁度		
原水水質の制約条件	濁度数百度以下とし、鉄・マンガン以外の溶解性物質は水質基準項目の基準値を満足すること。			濁度100度以下(短期)とし、一般細菌、大腸菌、濁度以外の項目は水道基準項目の基準値を満足すること。		
積載可能車両	4tトラック × 1台		4tトラック × 3台	4tトラック × 1台		
設置環境	屋内、屋外			屋内(風雨よけ簡易囲いを設けることにより屋外設置可能)		
設置必要人員	2～4 人			3～4 人		
運転方式	自動、手動			自動、手動		
使用薬品	次亜塩素酸ナトリウム(酸化・消毒用) PAC(凝集用) 苛性ソーダ・希硫酸(※原水水質より要・不要あり)			次亜塩素酸ナトリウム(消毒・膜洗浄用)		
運転人員	1人 ※ただし、無人運転を基本とし、現場常駐は不要			1人 ※ただし、無人運転を基本とし、現場常駐は不要		
電源	3φ 200V 2.2kW 50/60Hz ※装置付属の発電機を使用可能	3φ 200V 2.8kW 50/60Hz ※装置付属の発電機を使用可能	3φ 200V 4.8kW 50/60Hz ※装置付属の発電機を使用可能	3φ 200V 1.5kW 50/60Hz ※装置付属の発電機を使用可能	3φ 200V 2.0kW 50/60Hz ※装置付属の発電機を使用可能	3φ 200V 4.0kW 50/60Hz ※装置付属の発電機を使用可能
発電機付属の場合	燃料: 軽油 連続運転時間: 4h			燃料: 軽油 連続運転時間: 4h		
保管場所	屋内、屋外(屋外の場合養生シートにより覆う)			屋内		
その他	・本装置は浄水場に設置して通常は浄水処理(連続運転)を行い、災害時には取り外して給水拠点等へ輸送し、応急給水に用いるという使い方が可能である。 ・水道施設設計指針に準拠した容量を確保している。			・本ユニットは浄水場に設置して通常は浄水処理(連続運転)を行い、災害時には取り外して給水拠点等へ輸送し、応急給水に用いるという使い方が可能である。 ・膜モジュールは、装置とともに現地へ輸送し、現地にて装置へ取り付ける。 ・使用する膜モジュールは一般社団法人膜分離振興技術協会の認定を取得済み。 ・原水槽・洗浄水槽も一体化しているため、現地では原水・処理水接続するのみで他の機器等を必要としない。		
カタログ・画像	